

閉会中の活動報告

総務環境委員会

行政視察

○神奈川県川崎市「公契約について」

①入札契約制度の見直しについて

中小企業活性化条例を制定し、川崎市内の中小企業者の受注の機会の増大を図るよう努めるものとされ、入札契約制度と発注等検討委員会を設置。

②主観評価項目制度について

事業者の社会貢献等を点数化し、入札参加条件に加える制度。

③入札監視委員会について

入札・契約の透明性・公平性を担保する第三者機関を設置。

川崎市では、業界や入札監視委員会からの意見を聴取し、毎年のように入札契約制度を更新するなど、公契約の品質向上に取組んでいる。



神奈川県川崎市

○静岡県浜松市「森林由来のカーボンクレジット制度（J-クレジット）について」

①カーボンクレジットの導入経緯について

FSC（FM）認証（※）を取得した森林を対象として、令和4年度から、天竜・春野・津山の3森林組合がそれぞれプロジェクトの実施者として市と連携しながら推進。

②カーボンクレジット制度詳細

対象面積合計は約304ヘクタール、8年間で森林が吸収するCO₂の1万4000トン分のクレジット発行を見込んでいる。

令和7年度中に検証審査を受け、翌年3月の認証委員会でクレジット発行を目指す。

③カーボンクレジット制度導入の課題

- ・森林所有者の理解・長期間にわたる安定的な経営体制の構築

- ・境界明確化・地籍調査の課題

- ・審査コスト・事務負担

浜松市のJ-クレジット成功には、長年維持されたFSC認証林やレベルの高い森林管理が大きく寄与している。

※FSC認証は環境、社会、経済の便益に適い、きちんと管理された森林から生産された林産物や、その他のリスクの低い林産物を使用した製品を目に見える形で消費者に届ける仕組み。



静岡県浜松市

○静岡県浜松市「防災学習センター（通称：はま防～家）」

廃校になった小学校を改修し、主に小中学生を対象とした防災教育を実施し、将来の防災の担い手を育成することをコンセプトとしている施設で、浜松市の地理的特徴や災害リスク、南海トラフ巨大地震の被害想定、自分の命は自分で守る「自助」の意識向上を図っている。

いろいろな体験やクイズを通して学べる点が、防災教育の面で参考となった。



防災学習センター

○静岡県熱海市「自主防災組織の活動について」

①危機管理監（地域防災マネージャー）を中心に庁舎内に独立した専門部署を設置

②危機管理部門の防災出前講座の実施

③地震ブレーカーの設置補助

町内会とは別に自主防災組織が大部分の地域で結成され、災害備蓄品の管理や防災訓練を実施するなど、行政との連携が充実している。